

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）における ソフトボール活動の再開に向けた
感染拡大予防ガイドライン（公益財団法人日本ソフトボール協会作成成分より抜粋）

1. 入場制限

チーム関係者の来場人数については、ベンチ入りメンバー以外を最小限に止める

2. 体調管理

参加当日の朝に体調不良（発熱、倦怠感など）である関係者は、来場を禁止する
また、家族などに同様の症状がある場合もその関係者の来場を禁止する

3. 感染予防

- ① マスク着用の徹底（プレー中の選手は例外）
- ② 入場の際に消毒液での手洗いを徹底する（消毒液はチームで準備する）
- ③ 会場への移動は、原則バスや車移動とし車内の換気を徹底する
- ④ タオル・ペットボトル・コップ等の共用は避ける
- ⑤ 鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する
人はマスクや手袋をし、マスクや手袋を外した後は必ず手指消毒をする

4. 競技上（練習含む）の留意点

- ① バット、ヘルメット、グローブ、打撃用手袋、ロジンバッグなどは各選手が使用し、
可能な限り他の選手との共用を回避するように努め、共用せざるを得ない用具につ
いては、こまめに消毒を行う
- ② 唾を吐く行為を禁止する
- ③ 選手、特に投手は指を舐めてはいけない
- ④ 握手、ハイタッチ、グータッチ、ハグなどの身体的接触を避ける
- ⑤ グラウンドレベルでの円陣は控える
- ⑥ ベンチ内での選手間の距離は、できるだけ 2m（最低 1 m）確保する
- ⑦ ベンチ内には消毒液を設置する
- ⑧ ベンチ内から声援や指示を出す場合は、対人距離に注意する
- ⑨ 試合前の打順表最終確認の際は、可能な限りお互いの距離を取り、監督、審判の握手
は行わない
- ⑩ 球審はマスクを着用する
- ⑪ 球審は捕手に触れてはいけない
- ⑫ 監督、コーチが審判に近づく際は最低 2 m の距離を保つ
- ⑬ 試合開始時の整列及び礼は、球審の集合準備の合図で両チームがベンチ前に整列し、
その場で礼をして行う。試合終了時も同様の形態とする

以上